

バージョン 6.0.8

- “リカバリドライブ作成”を更新しM1/M2 macOS Sonomaに対応
- ダーク モードのサポートとテーマの自動検出を備えた新しい Windows UI
- ネットワーク ボリュームへのクローンのサポート及び上書きチェックのUIのサポート
- APFS: ロード スナップショットを更新します (macOS 12 以降)。アナライザーを高速化
- APFS: 大きな圧縮ファイルをサポート (macOS 12 の /System)
- プレビュー: 新しいカメラをサポートし、表示は“サムネイルを表示”とした
- スキャナ: TIFF/NEF (NIKON Z 9 など) の RAW アナライザーを改善
- UI: 修正 “ドットおよびカンマに後にスペースがなかった” (macOS)
- UI: UAC/EXE プロパティ (Windows)の名前“Data Rescue”を修正
- サードパーティのライブラリを更新および最適化してバンドル サイズを削減する

バージョン 6.0.7

- CR3 ファイル (Canon RAW v3) をサポートします。プレビュー埋め込みデコードを追加
- Canon PowerShot RAW ファイルを検出/回復するために CR2 サポートを拡張
- クローン: クローン先のチェックを追加 (不正/読み込み専用/スペース無)
- 完全な消去: APFSのサポート; デバイスパスの表示; ダークモードUIの修正
- APFS: fix crash after DB failure; reduce Scan size on DB reuse
- APFS: DB処理失敗後にクラッシュした問題を修正; DB再利用時のスキャンサイズを縮小した
- ExFAT: “スレッドがスタックを使い果たした” によりスキャンがクラッシュした問題を修正 (Windows)
- NTFS: 破損したファイルで無限再起に陥りクラッシュする問題を修正
- 不正な形式のファイル/ディスク名で回復進行状況 UI がクラッシュする問題を修正
- Windows 11で“No Machine ID”エラー (WMI BaseBoard情報が欠落している問題) を修正
- macOS Montereyでの“リカバリドライブ作成”の進行状況表示を修正

バージョン 6.0.6

- BootWell: “システムドライブのクローン (高速) ” オプションの新規追加
- (署名され封印されたAPFSボリュームとグループのクローン)
- BootWell: macOS Monterey インストーラ (フォーマット/ウェブページ)のサポート
- Windows 11のインストーラおよびランタイムライブラリの追加
- ライブラリおよびサードパーティライブラリの更新(macOS, Windows)
- “再構築ファイル”への全てのクロスリファレンスの表示
- “Library missing / image not found”でSparkleがクラッシュした問題を修正

バージョン 6.0.5

- APFS: 封印されたボリュームとスナップショットのサポート (macOS Big Sur)
- APFS: macOS Big Sur の新しい埋め込み圧縮タイプのサポート
- APFS: コンテナラベルの“Update” システムVoIDを表示しない

- WindowsフォーマットのGPTエントリーでのProtective MBRをサポート
- プロフェッショナルモードで複数スキンの選択および削除のサポート
- ディスク/イメージ/ファイルに対して“ドライブパラメータの設定”をサポート
- FLA/PPT/XLS パターンの拡張; MPP/PUB/RPT/SUO/VSMACROSの追加
- DOC/XLS/PPT/VSD/FLA/PUB/MPPに対する高速CLSIDバイナリパターン
- macOSとWindowsでスキャン結果の表示を統一した (厳密なCBR順)
- PDSK イメージに対するランダムseek/readの結果の不整合を修正
- “スキャンポップアップメニューの“エクスポート” あるいは “ドライブ割り当て”でクラッシュした問題を修正

バージョン 6.0.4

- リカバリドライブ “標準 macOS” / “最小” モード
- Apple M1 (APFS ボリューム)のリカバリドライブをサポート
- DOC/XLS/PPT/FLA 解析の改善; VSD (Visio) タイプのサポート
- UTF-8ファイル名の適正化 (“不正バイト列”を修正)
- 拡張パーティション解析の改善 (クラッシュ/オーバーフローを修正)
- macOS 埋め込み WebViewでCmd-a/Cmd-c/Cmd-v/Cmd-xをサポート
- MPEGファイルのサブタイプに“最小ファイルサイズ” チェックボックスを追加
- “リカバリするファイルがマークされていない”のチェックをスタンダード/プロで統一
- デベロッパツールをインストール無しでリカバリドライブアイコンを設定
- VDI (VirtualBox)ファイルで“Discarded” ブロックタイプをサポート
- リロードドライブリスト後のステータステキストを修正
- “カスタムファイルモジュールの管理” / “パターンシンタックス”ポップアップを修正
- 一時ファイルフォルダを変更した後の検索でクラッシュした問題を修正
- DREngine / UI ログスレッドの競合でクラッシュした問題を修正
- クローンウィザード使用後にメディアリストを更新するとクラッシュした問題を修正
- TIFF解析で日時文字列が不正の場合クラッシュした問題を修正

バージョン 6.0.3

- “回復が終了” ウィンド/Eメールを統一; エラー情報を追加
- リカバリドライブに“ヘルプ/システムアプリケーション”を追加
- macOS Big Sur リカバリドライブの終了時、Finderが開く問題を修正
- WebViewでHiDPI を追加; Win32 HTTPs警告を修正
- core libsの更新 (UI, 圧縮, 暗号, DB, JSON/YAML)
- リカバリドライブ作成中、スリープモードを無効化
- リカバリドライブのサイズを縮小 (System/iOSSupportを削除)
- color_planes/max_size不正のICOファイルを排除
- 破損したスーパブロックのロード中にAPFS解析がクラッシュした問題を修正

バージョン 6.0.2

- Windows Vista 以降のモダンなユーザー インターフェイス スタイル
- WebViewerナビゲーションの追加(戻る|進む|リロードツールバー)

- 埋め込みIEエンジンの更新; スクリプトエラーのポップアップを無効にする
- 「APFS Container」ラベルにドライブとパーティションIDを表示
- プレビューでBOMからUTFを自動判別; .yaml/.ymlをサポート
- リカバリドライブの「フルディスクアクセスを有効にする」ウィンドウを修正
- リカバリドライブのサイズを減少 (InstallerSandboxes を除いた)
- リカバリドライブの作成で「データレスキュー」ボリュームアイコンを設定した
- Uより正確な更新時刻のために NTFS の追加レコードを使用する
- CBR、DMG、FM、HFS、RAIDモジュールのinitメモリを解放する

バージョン 6.0.1

- macOS 10.12 と 10.13 のグラフィカル・アーティファクトを修正
- 経過時間フィールドを持つ進行状況ダイアログを大きくした
- 無効なw/h/nbits/planeを持つBMPファイルをフィルタリングする
- 登録モジュールのマシンIDライブラリを更新しました。
- macOS上での読み込み中に終了時にWebViewがクラッシュする問題を修正
- HFSスキャナ/アナライザのスタックバッファオーバーフローを修正
- スキャナモジュールでFATディレクトリセクタのチェックを修正

バージョン 6.0.0

- APFS サポート (スキャンとファイル復元)
- macOS 10.15用のリカバリドライブを作成する
- ダークモードテーマをサポート (macOS 10.15)
- 圧縮ファイルの復元を高速化する
- 複数のユーザー インターフェイスの強化